

## 4 文の組み立て(主語・述語・修飾語)

4-1 p.62

1 文…ひとまとまりの内容を表す一続きの言葉。

→ 文を書きあらわすときは、最後に句点(。 )を付けます。

2 文の型

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| ①何・だれが…何だ。        | [例] <u>ぼくは</u> <u>小学生だ</u> 。 |
| ②何・だれが…どうする。      | [例] <u>車が</u> <u>走る</u> 。    |
| ③何・だれが…どんなだ。      | [例] <u>道が</u> <u>広い</u>      |
| ④何・だれが…ある(いる/ない)。 | [例] <u>犬が</u> <u>いる</u> 。    |

3 主語と述語

①主語…右の型の「何・だれが」にあたる部分。上の[例]では\_\_\_\_\_部

②述語…右の型の「何だ」「どうする」「どんなだ」「ある」にあたる部分。上の[例]では\_\_\_\_\_部

※ 主語と述語は、文を組み立てている要素の中で最も大事な部分です。

4 修飾語…文の中でほかの言葉を詳しく説明(修飾)する言葉

[例] 明日、ぼくは 学校へ 行く。

「明日」はいつ「行く」のか、「学校へ」はどこへ「行く」のか、「行く」を詳しく説明(修飾)している。